

F-REDD Newsletter

Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project
Nov 2015 - Oct 2020

持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト (F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。農林省森林局(M AF-DOF)を実施機関として協力しています。

第6回JCCが開催されました

F-REDDの2021年9月までのプロジェクト期間延長に関するJICAとラオス政府との合意を受けて、終了時までの活動と目指す成果に関して、第6回JCC (Joint Coordinating Committee) が2020年11月6日に開催され、主に以下の事項について合意しました。

- 2021年9月までの活動計画及び改訂Project Design Matrix (PDM)
- 改訂森林法第68条の林地の境界線画定に関するガイドライン作成の必要性
- 改訂森林法82条に定める林地の他用途転用における林地の有する環境機能や、生物多様性の経済的評価手法開発について森林局からJICAへ支援の要請があり、今後、協議を継続
- GCFのREDD+成果支払いへの申請書については、成果支払い制度の改訂が予定されていることから、申請書についても制度改訂に沿った変更が必要となる可能性

- 県森林減少モニタリングシステム(PDMS)の紹介が行われ、これに関するワークショップの別途開催

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う渡航制限などから活動計画は2021年3月までとされており、渡航制限緩和等の状況を見ながら残期間の活動について合意することとなっています。



第6回JCCの様子

NFMS(国家森林モニタリングシステム) Learning Sessionを遠隔(Web)実施しました

11月10-11日の2日間にわたり、ラオスにおいても新型コロナウイルスによる渡航制限があるため、日本から遠隔でWeb会議システムを活用して、森林局の森林調査計画課及びREDD+課、気候変動局、他プロジェクトから、のべ46名が参加す

る表記セッションを開催しました。ラオスにおけるREDD+の進捗状況、NFMS(国家森林モニタリングシステム)のロードマップの内容、NFMS web-portalの内容および課題、PDMSに関する活動報告および課題の共有を行いました。

セッションではF-REDDと関わりの多い職員が別の職員に説明を補足するなど、積極的な意見交換や質疑が行われ、実り多いセッションとなりました。

FCPF炭素基金のERPAが署名されました

ラオスは2018年6月にFCPF炭素基金*¹に採択されて以降、世界銀行との排出削減に関する支払い契約（ERPA）の準備を進めてきました。このたび、世界で9か国目、アジアで3か国目としてERPAの締結に至りました。2019年～2024年にかけてラオスは北部6県でREDD+成果（排出削減・吸収増加）を実現できた際に、45億円近い成果支払いを受けられる可能性が開けます。

ERPAの契約締結に向けて、F-REDDは排出削減モニタリング手法を中心に、セーフガードや受益分配などについても他の開発パートナーと連携して協力して来ました。またGIZによるGCF事業*²と

も連携してREDD+成果の実現を後押しするとともに、2022年と2025年に予定されるREDD+成果のモニタリングに向けてDOFの能力向上を続けていきます。REDD+の成果支払いがより現実に近づくことで、ラオスの森林保全に拍車がかかることが期待されます。

*1: FCPF (Forest Carbon Partnership Facility)。世界銀行が信託を受けて運営するREDD+基金。そのうち炭素基金（Carbon Fund）は世界18ヶ国に対して成果支払い基金を予定。

<https://www.forestcarbonpartnership.org/country/lao-pdr>

*2: FCPF炭素基金のREDD+成果支払い実現を推進するために北部3県森林保全を支援。

<https://www.greencclimate.fund/project/fp117>

成果毎の主な活動

成果1：中央政府の森林セクター支援

- ◆ 森林戦略2020の評価および森林戦略2030の方向性検討

成果2：REDD+実施による排出削減・吸収増加量の測定支援

- ◆ UNFCCCのTechnical analysis対応

成果3：国レベルのREDD+支援

- ◆ GCF REDD+成果支払いのファンディング・プロポーザル案作成、南部県会合、現地調査

- ◆ セーフガード報告書のUNFCCC提出 (<https://redd.unfccc.int/submissions.html?country=lao>)

成果4：ルアンプラバン県およびウドムサイ県のREDD+準備支援

- ◆ 活動完了

コンタクト

プロジェクトオフィス

Kouvieng Street, Sisaket Village,
Chanthabouli District,
Vientiane Capital, Laos
Tel & Fax: 021(22)2536

プロジェクトHP

<http://www.jica.go.jp/project/laos/018/index.html>

次期半期のイベント

April - June

- FSSWG枠組みを活用した森林戦略2030の中央レベルコンサルテーション
- I-GFLL県における（北部3県）へのPDMS導入研修と実施
- UNFCCC MRV審査報告書の最終化
- 森林劣化・回復モニタリング改善の継続

July - September

- 最終JCCの開催
- プロジェクト終了



農林省
Ministry of
Agriculture and
Forestry (MAF)



国際協力機構